

市報うんなん Unnan

2
2026 No.255



Instagram で
市の魅力を発信中！

特集

市内で活躍する地域おこし協力隊を紹介します！ (2ページ)

今月の表紙：令和8年雲南市消防出初式一斉放水（三刀屋川河川敷）

活動名:空き家流通コーディネーター

浜田 里実さん

profile
活動開始
:令和6年6月1日
出身都道府県
:香川県

QRコード
▲活動紹介 note
QRコード
▲Instagram

インスタグラムで空き家のパンくずの新着のお知らせや空き家に関する色々な情報をお届けしています。いねコメト・エアをさせていただける嬉しいです。

主な活動内容

- 空き家バンクの運営
- 地域と連携した空き家活用に向けた活動
地域自主組織にヒアリング
空き家座談会開催
住まいの終活の出前講座
空き家すくろく作成
空き家バンクポスター作成
空き家バンクパネル展示 など

**活動名:エリアリノベーション
商店街の空き家等を活用したにぎわう場づくり**

小堀 祥仁さん

profile
活動開始
:令和6年4月1日
出身都道府県
:埼玉県

QRコード
▲活動紹介 note
QRコード
▲雲南市空き家じか

主な活動内容

- イベントを通じた機運醸成・人づくり
地域自主組織の空き家勉強会の開催
雲南市桜まつりにおける商店街のイベント企画
秋の賑わい市への参画
- 本次商店街内の物件の利活用
きすき古本市の開催
- まちづくりの仕組みづくり
- まちづくり×次世代育成

活動名:雲南型テロワールツーリズムの創造

岩田 翔平さん

profile
活動開始
:令和6年4月1日
出身都道府県
:島根県(雲南市)

QRコード
▲活動紹介 note
QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- ツーリズム(地域資源を生かした観光)企画業務
170の個人・法人へのヒアリング
視察アテンド実施
- ワーケーション(仕事と休暇を組み合わせた働き方)企画業務
- ワイナリー立ち上げ業務



市内で活躍する 地域おこし協力隊を紹介します！

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などの課題を抱える地域が、都市部から人材を受け入れ、地域活性化に取り組む総務省の制度です。隊員は雲南市に移住し、1～3年間、さまざまな地域協力活動に従事します。地域おこし協力隊制度では隊員・地域・地方公共団体の「三方よし」をめざしています。雲南市では平成23年度より取り組みを始め、令和7年度は新たに3人の隊員が着任しました。令和8年1月現在、計11人の隊員が活動中です。

現在着任している隊員を紹介します

活動名:ローカルメディアプラットフォーム事業

白石 章二さん

profile
活動開始
:令和7年4月1日
出身都道府県
:島根県(雲南市)

QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- 自前のメディア「雲南経済新聞」立ち上げ(平日毎日記事アップ)
- 写真による地域情報発信の強化と仕組みづくり
うんなんカメラ部の立ち上げ
街まるごとギャラリーの開催
インスタグラム発信
プロ講師と撮影会の企画・運営
- 取材の中での課題解決提案

活動名:資源循環コーディネーター

山口 直登さん

profile
活動開始
:令和7年2月1日
出身都道府県
:神奈川県

QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- 脱炭素社会実現に向けた啓発活動
- キエーロコンポストの普及活動
- 資源循環の仕組みづくりに関する業務
菜種栽培、菜種油の生産、廃食油の活用

活動名:官民共創コーディネーター

中村 圭吾さん

profile
活動開始
:令和7年2月1日
出身都道府県
:大阪府

QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- 企業チャレンジの推進
- 関係人口創出に向けた官民連携の活動
島根を学ぶ講座・フィールドワークのコーディネート
- 生産者と都会をつなぐ場づくり
ふるさと住民登録制度について

**雲南市地域おこし協力隊
アドバイザー**

三瓶 裕美さん

さんべ ひろみ

平成23年8月から平成26年3月まで雲南市地域おこし協力隊として活動。令和5年度からはアドバイザーとして隊員の取り組みをサポート。

主な役割

- 隊員の活動支援
- 地域とのコーディネート
- 市役所の協力隊募集・導入支援
- 制度運用全般のアドバイス

活動名:おろちの里 食の魅力推進員

石崎あゆみさん

profile
活動開始
:令和7年11月1日
出身都道府県
:岐阜県

QRコード
▲Instagram

インスタグラムで活動状況や牛の魅力を発信しています。
良かったらぞいみてください。

主な活動内容

- 道の駅「おろちの里」の新メニュー開発計画のために地域内を中心に食材調査
- 道の駅「おろちの里」、木次町温泉地区の情報発信

活動名:畜産振興コーディネーター

坂本 真実さん

profile
活動開始
:令和7年6月1日
出身都道府県
:島根県

QRコード
▲Instagram

インスタグラムで活動状況や牛の魅力を発信しています。
良かったらぞいみてください。

主な活動内容

- 牛に関わる技術継承
牛の世話、ほ場管理、放牧場管理、削蹄、人工授精など
- 地域や畜産関係者とのつながり強化
市場での情報収集、共進会、地区活動への参加
- 次世代への啓發
インスタグラムによる情報発信

活動名:鳥獣対策コーディネーター

山田 総紀さん

profile
活動開始
:令和5年8月1日
出身都道府県
:福岡県

QRコード
▲活動紹介 note
QRコード
▲Instagram

主な活動内容

- 鳥獣による農業被害や生活被害報告に対する現場対応
- 駆除班員によって実施された有害駆除の実績確認
- サル被害対策:行動範囲調査、被害状況確認、追い払い、捕獲
- サギ営巣地の個体数確認、追い払い
- 学習会の開催や広報活動
- ツキノワグマの目撃・痕跡通報への現場対応

**活動名:Guesthouse IKIRU
雲南市体験コーディネート**

吉田 勇輝さん

profile
活動開始
:令和5年7月1日
出身都道府県
:兵庫県

QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- ゲストハウス運営を通した関係人口の創出
- 移住体験・自然体験コーディネート
- コーディネーター人材の育成
- 古民家活用をテーマとした勉強会の開催
- Uターン、関係人口イベントの企画・運営
- 阿用地区米づくり体験の活動承継

活動名:雲南地域商社立ち上げ

なかの 中野 弘也さん

profile
活動開始
:令和5年7月1日
出身都道府県
:東京都

QRコード
▲活動紹介 note

主な活動内容

- 地域の食品の魅力を、販売を通して都心で伝えていく活動
- 市内事業者ヒアリング
- 小売店などへの新規営業
- マルシェ・マーケットへの出店や、展示会・商談会への出展
- 小売店との「島根フェア」の企画・開催

こう きょう こう つう 「見えよう」 雲南市の「えすこな」**公共交通**

令和7年8月に実施した市民アンケートの結果から、公共交通のサービス内容が十分に周知されていないことが明らかになりました。そこで、今回は「だんだんタクシー」を取り上げ、サービスの内容や利用方法について紹介します。

その出かけ、**だんだんタクシー** にお任せください！

だんだんタクシーとは

だんだんタクシーは、運行時間帯の中で**自宅の近くから目的地まで**運行しますので、バス停まで歩くのが大変な方にも便利にご利用いただけるデマンド型乗合タクシーです（往復利用・片道利用のいずれも可能です）。決まったルートを走るバスと、自由に移動できるタクシーの、いいところを生かした乗り物です。運行範囲は**各町域内**となっており、例えば、加茂町から大東町へは直接行けません。町域をまたいで移動する場合は、市民バス（広域バス「吉田大東線」など）への乗り継ぎをご利用ください。



主な特徴

1. 自宅かららくらく移動！

自宅の近くから、地域内のスーパー・病院、公共施設などへ送迎します。

① 電話予約



××町の○○です。
だんだんタクシーの予約を
したいです。8時30分の便
に乗ります。

名前・住所・利用したい便を、
出発の30分前までに電話でお知らせください。

③ 乗車・目的地へ



だんだんタクシーは、他の方と一緒に乗っていただく「乗り合い」のサービスです。
座席数に限りがありますので、大きな手荷物の持ち込みはご遠慮ください。

★便数や運行ダイヤ、利用のルールは地域によって異なります。

利用方法の詳細は「雲南市民バス時刻表」34ページ以降でご確認ください。

★吉田町域は「だんだんバス」の名称で同様の運行を行っています。

もっと「便利」ご利用いただくために、サービス内容を見直しています！

だんだんタクシー・バスは、平成25年の運行開始以来、これまで少しずつダイヤなどの見直しを行ってきました。今後、新しい地域公共交通計画を策定するにあたり、サービス内容の拡充を検討しています。ぜひ一度乗ってみて、ご意見やご感想をお聞かせください。

急募 市民バスの運転手を募集しています。少しでも関心のある方は、ぜひご連絡ください。

【問】交通政策室 Tel 0854-40-1014



令和7年度版
「雲南市民バス時刻表」

廃食油 回収場所を増設しました

ご家庭で不要になった廃食油は、軽油の代替燃料となる「バイオディーゼル燃料」にリサイクルされる貴重なエネルギー資源です。

廃食油回収場所は、これまで市役所本庁舎と総合センターのみでしたが、新たに25カ所の交流センターを追加しました。ぜひ、お近くの回収場所へお持ち込みください。ご協力をお願いします。

1 市役所本庁舎、総合センター

※廃食油の持ち込みは、開庁・開館時間（8:30～17:15）にお願いします。
土・日曜日、祝日（年末年始の休業日を含む）の持ち込みはできません。

雲南市役所本庁舎	大東総合センター	加茂総合センター
木次総合センター	三刀屋総合センター	吉田総合センター
掛合総合センター		

2 交流センター

新たに回収場所に追加しました

※開館・閉館時間、休業日については各交流センターにお問い合わせください。

町名	施設名
大東町	春殖交流センター 幡屋交流センター 佐世交流センター 阿用交流センター 久野交流センター 海潮交流センター 塩田交流センター
加茂町	加茂交流センター
木次町	八日市交流センター 三新塔交流センター 下熊谷交流センター 日登交流センター 西日登交流センター 温泉交流センター
三刀屋町	一宮交流センター 飯石交流センター 鍋山交流センター 中野交流センター
吉田町	吉田交流センター 民谷交流センター 田井交流センター
掛合町	多根交流センター 松笠交流センター 波多交流センター 入間交流センター

【回収時の注意点・お願い】

●回収できる油は、植物性油（サラダ油、菜種油、ごま油、オリーブ油など）です。



※賞味期限切れの油も回収できます。

動物性油（ラード、バター）、鉱物油（エンジンオイル、灯油）、事業所から出た油、水や異物が混ざった油、固まった油は回収できません。

●回収場所には、ふたの閉まる容器（ペットボトルなど）に入れて持ち込んでください。油は廃食油回収箱内のポリタンクに移してください。持ち込みされた容器はお持ち帰りください。



▲廃食油回収箱

【問】環境政策課 Tel 0854-40-1033

主要地方道大東東出雲線奥小河内工区竣工式

12月20日、島根県が施工する主要地方道大東東出雲線奥小河内工区道路改良工事の竣工式と安全祈願祭が、主要地方道大東東出雲線改良整備促進期成同盟会(松本廣志会長)の主催により開催されました。

このたび完成した奥小河内工区は大東町小河内地区の引那岐農道交差点付近から松江市境までの延長795mの区間で、平成29年度に事業着手されました。道路幅員が狭く、積雪時の走行に支障をきたす区間でしたが、雲南市側が2車線整備されたことにより、通行車両の安全確保と地域活性化の促進などが期待されます。



▲安全祈願祭でいさつする松本会長

令和7年度第2回加茂町人権セミナー

12月20日、令和7年度第2回加茂町人権セミナーが雲南市人権・同和教育推進協議会加茂支部の主催(共催:雲南市・加茂まちづくり協議会・加茂保こ中連携協議会)により加茂交流センターで開催されました。

講師にアーティストよしとさんを招き、「FUKURAMU~新聞紙でつくる巨大ふうせんアート~」と題して、約70人の参加者全員で新聞紙をつなぎ合わせて風船を作成しました。年齢・性別に関係なく、お互いの違いを認め合いながら協力して一つの作品を作ることで、人を大切にする心(人権の意識)を育む機会となりました。



▲作成した巨大風船と参加者たち

第50回掛合町元旦マラソン

1月1日、掛合町元旦マラソンが雲南市スポーツ協会掛合支部(渡辺重光支部長)の主催により行われ、約100人が参加しました。

参加者たちは掛合交流センター前を8時過ぎにスタートし、ゴールの挾長神社まで、約3kmと約1kmのコースを選択して走りました。挾長神社では参加者全員で参拝も行いました。今年は50回の節目の開催ということで、参拝後に記念抽選会が行われました。生まれの小学生がくじを引いて当選者を選ぶという手法で行われ、歓声あり、笑いありで大いに盛り上りました。



▲コースを走る参加者たち

新春を飾る消防出初式

1月11日、雲南市消防出初式を三刀屋文化体育館アスパルで開催し、多数の来賓を迎える妹尾芳行団長以下712人の消防団員が参加しました。

式典では、妹尾団長が「昨年は全国各地で大規模な火災が発生した。雲南市においても他人事ではなく、引き続き訓練や予防啓発活動を行い、『安全で安心なまちづくり』、『無火災のまちづくり』を目指し、心を一つにし、汗を流していく」と訓示しました。式典後には、三刀屋川河川敷で一斉放水を行いました。



▲訓示する妹尾団長

掛合図書センター陽だまり館20周年記念イベント

12月6日、掛合図書センター陽だまり館20周年記念イベントを掛合交流センターで開催しました。

陽だまり館の図書業務に関する○×クイズ、蔵書数や図書室カードに関するクイズなどを行ったほか、旧読書会による読み語りや人形劇、わくわくお話隊による音楽とお話で楽しむ朗読劇など、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。また、小説や絵本、雑誌などの古本市コーナーや、しおり作りなどの無料体験コーナーもあり、さまざまな本とふれあえる時間となりました。



▲旧読書会による読み語りの様子

雲南市ブランド米振興大会

12月11日、令和7年度雲南市ブランド米振興大会が雲南市水田農業担い手協議会(錦織満会長)の主催により三刀屋交流センターで開催され、約50人が参加しました。

大会では、今年度にブランド米認定された生産者の表彰のほか、「プレミアムつや姫たら焰米」販売促進の取り組み報告などがありました。今年度は、「たら焰米」の認定数が取り組みを始めて以降の最高を記録しましたので、次年度もさらなる品質の向上とブランド力の強化をめざすことを確認しました。



▲ブランド米認定の表彰を受ける生産者

雲南市雇用対策協定締結式

12月12日、厚生労働省島根労働局と雲南市との間で「雇用対策協定」を締結しました。

本協定は、それぞれの強みを生かし、一体的に総合的な施策の推進と地域の課題に対応していくことが目的です。協定に際して島根労働局の岩見浩史局長から「雲南圏域でも、構造的な人手不足が地域経済の成長を阻む要因となっている。本協定により、島根労働局と雲南市が課題に対する共通の認識を持ち、地域の雇用対策をより効果的に実施できるものと期待する」とあいさつがありました。



▲協定締結式の様子

木次線全線開通記念イベント 木次線まつり2025

12月12日の木次線全線開通記念日に合わせ、12月14日に木次線まつり2025が木次経済文化会館チリビアホールで開催され、約1,000人の来場者でにぎわいました。

今回は、漫画編集者の江上英樹さんが中心となって制作された、木次線応援コミックス「さかねとつむぎとキスキ線」の完成セレモニーが行われ、500冊を地元に寄贈いただきました。その他にも、木次線シンポジウム、ロビーイベントなど多数の鉄道に関する催しが行われ、来場者は木次線や鉄道の魅力に触れました。



▲コミックス完成セレモニーでの贈呈の様子

一般撮影をご存じですか？

放射線技術科 診療放射線技師 若槻 衣恋



一般撮影は、画像検査の中では頻度の高い検査です。病院で受診された際に医師から「レントゲンを撮りましょう」と言われたり、検診で胸部X線検査を受けられたり、皆さん一度は受けられたことがある検査ではないでしょうか。今回は、その一般撮影について紹介します。

一般撮影って？

一般撮影とは、X線を用いて行う胸部、腹部、骨格系などの撮影の総称です。単純X線撮影、レントゲンとも呼ばれます。検査時間は撮影部位や方向によって変わりますが、5分程度です。他の画像検査（CTやMRIなど）に比べ、短時間で簡便に画像が得られるため、診断の初期段階で広く利用される検査です。

何で白黒の画像なの？何が分かるの？

白黒の画像なのは、X線の吸収の差を利用しているためです。X線は目に見える光とは違い、もの通り抜ける力があります。密度の大きいもの（骨など）はX線が通りにくいので白く、密度の小さいもの（空気を含む肺など）はX線が通りやすいので黒く写ります。胸部では肺や心臓の病気の診断、腹部では腸内ガスの評価や結石の診断、骨格系では骨折や炎症の診断などに役立ちます。

検査の注意点は？

撮影する部位によって、更衣や息止め、色々な体位変換（立った・座った・寝た状態、腕や膝を伸ばす・曲げるなど）をお願いすることがあります。まず、更衣が必要な理由は、一般撮影の画像は通常のカメラの写真と同じで立体的なものが平面に写るので、撮影する部位に硬いものがあると重なってみて診断できない画像になるためです。具体例を下の表に提示しますので、検査を受けられる際に参考にしてみてください。次に、息止めが必要な理由は、呼吸をするとブレた画像になてしまうからです。最後に、体位変換が必要な理由は、検査部位を色々な方向で見るためです。

最後に

私たち診療放射線技師は皆さんの状態に合わせて臨機応変に検査を行っています。検査中の体位がつらい場合や気分が悪くなった場合はすぐに申し出てください。その他、検査について気になることがありましたら、ご相談ください。

【撮影の妨げになる物】

頭頸部 (頭・顔・首など)	ヘアピン、ウィッグ、補聴器、ピアス、眼鏡、入れ歯、ネックレスなど
胸部 (胸、肩など)	ネックレス、湿布、カイロ、コルセット、衣類（ワイヤー、ホック、チャック、ボタン、プラスチック類、金属類、厚手のプリント）など
腹部 (腹・腰など)	湿布、カイロ、コルセット、衣類（ワイヤー、ホック、チャック、ボタン、プラスチック類、金属類、厚手のプリント）など
四肢 (手・腕・足など)	腕時計、指輪、ブレスレット、湿布、衣服（ボタン）など

当院で行っている内視鏡（胃カメラ・大腸カメラなど）を用いた検査や治療件数は年々増加しており、病気の早期発見や治療にスタッフ一丸となり日々従事しています。皆さんは安全・安心な内視鏡検査や治療を受けていたくために当院の内視鏡室ではさまざまな取り組みを行っており、今回はそのいくつかを紹介します。



消化器内科 副院長 三代 剛



FUJIFILM 社製 : CUREVISTA Apex

清潔・安全・安心な内視鏡検査・治療を受けていただくために、当院での取り組みについて

①衛生面での取り組み

内視鏡は非常に高価な医療機器であり、一人ずつ使い捨てというわけにはいきません。そのため内視鏡使用後は、消化器内視鏡学会・技師会やメーカー推奨の標準手順に準じて、人の手による手洗い洗浄と自動洗浄機による洗浄・消毒を行っています。また院内感染対策チームと共に、洗浄評価としてATP（アデノ



当院でのATP拭き取り検査の様子

シンニリン酸）拭き取り検査や細菌培養検査を定期的に行なうことで内視鏡の衛生管理にも努めています。

③安心面での取り組み

一部の内視鏡検査、胃や腸のポリープ治療、総胆管結石の治療などに対して、当院では「クリニカルパス※」を導入しており、病院スタッフ間での医療内容の標準化・有化・効率化を図っています。クリニックバスでは検査や治療を受けられる方には、具体的な治療日や退院日が記載された予定表が準備されており、より安心な内視鏡検査・治療を受けていただけます。

※クリニカルバス…特定の病気の検査や治療の流れを説明するための検査計画書

今日は3つの取り組みを取り上げました。他にも安全・安心な内視鏡検査や治療を受けただけるよう、日々の振り返りに加えてさまざまな創意工夫に励んでいます。



安全・安心な内視鏡検査・治療を受けていただくために、当院での取り組みについて

②安全面での取り組み

（天板）自分が動くため、予期せぬ動きによる危険が潜んでいましたが、新しい装置は管球自体が動くためにそのような心配が無くなりました。また線量が少なくても高品質が得られる画像処理システム

も搭載されており、治療を受けられる皆さんに加えてわれわれスタッフの被曝リスクも軽減されるようになります。



第3回 ありがとうの気持ち、届けてみませんか？

まちづくり工房うんなんでは、「雲南市立病院で働く医療従事者の皆さんへ、地域から感謝の気持ちを直接届ける機会をつくりたい」と考え、このたび「ありがとうメッセージボックス」を設置しました。

これまで、各交流センターを回りながら、病院へのご要望やご提案をお聞かせいただきました。今回はそれに加えて、実際に病院を利用された際に感じた、医療従事者の良いところや心に残った対応を、そのまま「ありがとう」という言葉にして伝えていただけたらと思っています。

外来や院内にメッセージボックスと記入用紙を用意しています。

診察や相談の中で、「この声掛けが嬉しかった」、「この対応に安心した」など、印象に残ったことがありましたら、ぜひお気軽にご記入ください。

また、スマートフォンからも回答できるよう、二次元コードも設置しています。短い一言でも構いません。皆さんの温かいメッセージが、医療現場で働く職員の大きな励みになります。

まちづくり工房うんなんは、病院と地域の皆さん、互いに顔の見える心地よい関係を築いていくよう、これからもNPOとして活動を続けていきます。

ぜひ、あなたの「ありがとう」を届けてみてください。



<投稿箇所QRコード>

「日本DMAT隊員養成研修」に参加して

ながみ ただし もりやま ゆうや
長見 直 医師・森山 優耶 事務員

私たちは、昨年12月17日から20日までの4日間、兵庫県災害医療センター（神戸市）において実施された「日本DMAT隊員養成研修」に参加しました。

今回の研修では、全国から集まった医療従事者とともに、限られた資器材の中でのトリアージ（治療優先順位の判定）や、災害下での救命処置、

関係機関との連携方法などを学びました。実際の災害現場を想定した緊迫感のある訓練では、一刻を争う現場における連携の重みを肌で感じることができました。この研修で得た事を病院全体で共有し、万が一の災害時にも素早く対応できるよう努めています。

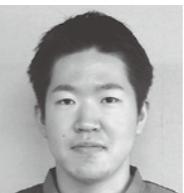
※DMATとは「Disaster Medical Assistance Team」の略称で、大地震や航空機事故などの大規模災害・事故の現場に、急行できる機動性を持った「専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム」のことです。医師、看護師、業務調整員（事務員など）で構成され、被災者の生命を守るために、発災直後のいわゆる「超急性期」から活動を行います。

フォーカス FOCUS

新入職員紹介

理学療法士

あさぬまじゅん
浅沼 舞



リハビリテーション技術科

入職1年目

作業療法士

みやがわ たかひろ
宮川 貴浩



地域住民がいつまでも笑顔でいられるように

理学療法士をめざしたきっかけは？

私が理学療法士をめざしたきっかけは高校の部活動のトレーナーの存在です。私自身野球部に所属しており、理学療法士のトレーナーにチームのサポートをしてもらっていました。けがの処置、トレーニングの指導、メンタル面でのケアなどチームに寄り添って一緒に勝利をめざし、喜びや悔しさを共感する姿を見て、生活に寄り添うことで幸せや苦難を一緒に分かち合える理学療法士という職業に魅力を感じたのがきっかけです。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

地域の方々と関わる機会が多いところです。去年の9月に開催された病院祭に私もスタッフとして参加しましたが、想像よりもはるかに多くの方々が来られ、体験ブースやイベントを通して交流を深めることができ、とても貴重な経験でした。

仕事には慣れましたか？

だいぶ慣れました。まだまだリハビリテーションを提供する上で知識や技術の面で分からないことが多いですがその都度、先輩方が丁寧に教えてくださるので困ることなく楽しく働いています。

職場の雰囲気はどうですか？

コミュニケーションが密にとれる職場だと思います。リハビリテーション技術科内ではもちろん、他職種との連携を図る会議でチーム医療を目的の当たりにして、どの職種のスタッフも治療を提供する上で必要であり協力し合う姿に、専門職として知識・技術をさらに高めていきたいと思いました。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

担当していた患者さんが元気になられ、笑顔で退院された事です。入院された当初は起き上がる事も難しかった方が治療やリハビリテーションを通して元気になれ、退院される際に涙を流して「ありがとう」と言ってください、この職業を選んで良かったと感じました。

今後の目標を教えてください

早く一人前の理学療法士になることです。先輩方のように患者さん一人ひとりに合ったリハビリテーションを提供し、笑顔で退院できるように自己研鑽を続けていきたいと思います。そして、少しでも雲南地域の皆さんのが健康に寄与できるよう頑張っていきます。

病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入職し、働いています。これからたくさんの知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

リハビリテーション技術科

入職1年目

作業療法士

みやがわ たかひろ
宮川 貴浩

地域に寄り添う、あたたかな医療を

作業療法士をめざしたきっかけは？

私は、家族から作業療法士を勧められたことがきっかけで作業療法士を知り、自分で調べていくうちに興味を持ち始めました。身体機能回復だけではなく、「その人らしい生活」を支えるこの職業に魅力を感じ、めざすようになりました。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

病院祭はもちろん、地域資源を生かしたプールリハ教室、医療出前講座など地域住民の健康に寄与する活動に力を入れ、雲南地域との関わりを大切にしているところが魅力だと思います。私も一員として貢献していきたいです。

仕事には慣れましたか？

最初は覚えることも多く、不安もありましたが、先輩方の指導のもと少しづつ仕事の流れにも慣れてきました。

少し余裕も出てきて患者さんとの会話にも余裕を持って対応できるようになってきたと感じています。

職場の雰囲気はどうですか？

とても相談しやすい雰囲気だと思います。リハビリテーションスタッフ同士だけでなく、職種を超えての意見交換も多くされていて、チーム医療の大切さが実感できる職場だと思います。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

患者さんの不安そうな表情から、リハビリテーションを通して少しづつ笑顔になっていく姿、できなかつたことができるようになったときに喜びを感じます。

何より「ありがとう」の一言が、毎日のエネルギーになっています。

今後の目標を教えてください

今後は、より専門的な知識や技術を身に付け、雲南地域で生活される患者さん一人ひとりに寄り添い、支える作業療法士になることが目標です。

「身体教育医学研究所うんなん」は、旧吉田村からの提案をきっかけに、平成16年4月に市立の研究機関として開所し、4月に設立20周年の節目を迎えます。主には、10月に開催予定の記念式典までの間に関連する事業を展開していきます。主には、次の3つに取り組みます。

● **冠事業の募集**

研究所うんなんの取り組みを、雲南夢ネットの番組を通じてシリーズで紹介する予定です。

● **活動紹介**

一緒に盛り上げていただきたい企業などの活動を冠事業として募集しています。冠事業として承認後、「身体教

育医学研究所うんなん設立20周年応援事業」などの名称や記念ロゴマークの使用、研究所による広報協力ができます。

すでに幡屋地区健康を守る会のウォーキング記録表に20周年記念ロゴマークが使用されています。

● **記念式典の開催と記念誌発行**

10月23日(金)に本次経済文化会館チャエリヴィアホールで記念式典を開催する予定です。併せて記念誌の発行を行っています。

● **記念ロゴマークの制作**

20周年記念ロゴマークを制作しました。ロゴマークの「20」の数字に配された3つの桜は、研究所うんなんの3つの柱である「教育」、「評価」、「研究」活動を表しています。設立から20年を迎えるこれまでの活動の成果が実を結んでいくことを満開の桜（市の花）で表現しています。このロゴには、地域に深く根ざし、これからも地域と共に進化し続けるという決意を込めています。

ここからだを育み20年 地域と共にこれからも

20th ANNIVERSARY

身体教育医学研究所うんなん
20周年記念ロゴマーク

**うんなん
UNNAN
小中学生ニュース**

vol.3

このコーナーでは、自立した社会性のある大人への成長をめざす教育環境で学ぶ市内小中学生の姿を伝えていきます。今回は加茂小学校で実施された福祉学習の様子を紹介します。

加茂小学校 5年生58人は、主体性・自主性を育むために9月からボランティア活動をテーマに福祉学習を行っています。ボランティア活動について理解を深め、自分たちにできるボランティアを考え、配食の包み紙のデザインやメッセージカード作りなどの活動を行いました。

児童の声

- あらためて「自発性」が大事だと分かりました。みんなのためにボランティアをしている人はすごいと思います。私もそんな人になりたいです。

▲ボランティア活動について考えを出し合う児童たち

地域の方の声

- ボランティアは楽しい気持ちでできることを知ってほしいです。誰かの力になることを分かってほしいです。地域を知って「自分たちにできることは何か」を考えてくれたら嬉しいです。

教員の声

- 5年生が地域のことや地域の困り事をよく理解して考えることができました。自分たちからどんな取り組みをしたらいいか、自分たちの言葉でカタチにすることができました。この活動を通して、自分たちの地域に貢献する思いを育むきっかけになった取り組みとなりました。

▲ボランティア団体による活動紹介の様子

国際交流員(CIR)スーキ・パチェコ・ジャン・ポールの異文化交流コーナー

マイストーリーズ

第50話：手で何かを作りたい

「便利すぎる」という気持ち、分かりますか。デジタル技術に対してよく思いますが、日常生活がデジタル化される中、スマートフォンやタブレットは、指一本の動きであらゆるエンターテインメントに触ることができます。配信アプリの利便性は高く、さまざまやり方で音楽、動画、ラジオ、宣伝さえも自動配信によって勝手に流れてくるので、何もかも自分で選択する必要がなくなっている気がしています。

そのような環境に、僕は圧倒されています。

運動をサボれば、筋肉は衰えてしまいます。集中力も使わないでいると衰えるかもしれません。先日、体も脳もあまり使わずに生活している自分に腹が立ち、「何でもいいから自分の手で作るぞ」と思い、絵を描き始めました。色合いや構図など、独自に勉強しながら描いています。

生活が便利になればなるほど、体も心も衰えると感じています。想像力を絞り、自分らしいモノを生み出すことはいい対策だと思います。

【課税対象となる車両】

最高時速が時速15km以下のもので、車両の長さ4m70cm以下、幅1m70cm以下、高さ2m80cm以下のもの

■農耕作業用自動車

最高時速が時速35km未満のもので、運転席があるものの運転席がない、手押し式のものは対象外)

【登録手続きに必要なもの】

・販売・譲渡証明書
・車両情報(メーター、車台番号、型式、年式など)

【廃車の時も届け出が必要です】

軽自動車税種別割は4月1日現在の所有者にその年度分が課税されます。廃車の届け出がない場合は、登録されたままとなり課税されることになります。

日現在の所有者にその年度分が課税されます。廃車の届け出がない場合は、登録されたままとなり課税されることになります。

今月の税金

- 固定資産税【第4期】
- 国民健康保険料【第8期】
- 後期高齢者医療保険料【第8期】

納期限は3月2日(月)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

で、ナンバープレートを持参のうえ、手続きをしてください(廃品回収業者などへ引き取つてもらう場合にも、必ず役所に持参のうえ、廃車手続きをしてください)。

女性弁護士相談

ナンバープレートを外し、市民生活課

0854-40-1031

0854-42-5678

男女共同参画センター

0854-42-5678

物価高対応子育て応援手当

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、0歳から高校3年生年代の子どもに対し1人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給します。

【支給対象者】(1)令和7年9月分児童手当受給者(令和7年9月に出生した児童については10月分)
(2)令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童の父母など

【支給額】支給対象児童1人につき2万円

【申請について】

申請が不要な方	申請が必要な方
①令和7年9月分(9月出生児童については10月分)の児童手当を雲南省から受け取っている方	①公務員で、所属庁から児童手当を受給している方(児童手当受給状況の証明が必要です。勤務先にお問い合わせください)
②令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童についての児童手当手続きを雲南省にした方	②離婚(離婚調停なども含む)により、令和7年9月分の児童手当受給者と現在の受給者が異なる方 ※前の児童手当受給者から子育て応援手当を受け取っていないか対象児童のために消費していない場合
【支給方法】 1月以降支給対象の方に随時案内を送付します。支給を希望しない方や、振込口座の変更が必要な方以外は手続き不要です。 ①と②の方のうち、令和7年12月26日までに手続きをされた方へは、1月中旬に支給案内を送付しています。	【申請締切り】 3月31日(3月中に出生や離婚等があった場合は4月30日) 申請書は市ホームページに掲載しているほか、市民生活課で配布します。
【支払日】 案内通知に記載しています。振込通知は送付しませんので通帳などでご確認ください。	

【注意事項】**・令和7年10月以降に雲南省へ転入された方**

令和7年9月分(9月に出生した児童については10月分)の児童手当を支給した市町村から支給されます。9月分を雲南省以外から支給された方は、引っ越し前の市町村にお問い合わせください。

・公務員の方

令和7年9月30において申請者の住所のある市町村に申請してください。

・DV被害により避難している方

DV被害により子どもとともに避難していて、避難先の市町村で児童手当の児童手当受給者変更をしていると、応援手当の支給を受けられる場合があります。申請期限がありますので、なるべく早く避難先の市町村にご相談ください。

【問】市民生活課 Tel 0854-40-1031

・HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)

定期接種の期間は限られていますので、早めに接種を受けてましょう。

**「国の教育ローン」
(日本政策金融公庫)****教育総務課**

TEL 0854-40-1071

高校、大学などの入学時や在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さん1人につき350万円以内を、固定金利(年3・15%※令和7年11月4日現在)で利用でき、在学期間内は利息のみの支払いになります。

詳細は、日本政策金融公庫ホームページ(「国の教育ローン」で検索)をご確認ください。

【問い合わせ先】

教育ローンコールセンター
TEL 0570-0008656
(ナビダイヤル)

TEL 03-5321-8656
(ナビダイヤル)

【課税対象となる車両】

最高時速が時速15km以下のもので、車両の長さ4m70cm以下、幅1m70cm以下、高さ2m80cm以下のもの

■農耕作業用自動車

最高時速が時速35km未満のもので、運転席があるものの運転席がない、手押し式のもの

転席がない、手押し式のもの(運転席があるもの)

転席がない、手押し式のもの(運転席がないもの)

【登録手続きに必要なもの】

・販売・譲渡証明書
・車両情報(メーター、車台番号、型式、年式など)

【廃車の時も届け出が必要です】

軽自動車税種別割は4月1日現在の所有者にその年度分が課税されます。廃車の届け出がない場合は、登録されたままとなり課税されることになります。

日現在の所有者にその年度分が課税されます。廃車の届け出がない場合は、登録されたままとなり課税されることになります。

軽自動車税種別割は4月1日現在の所有者にその年度分が課税されます。廃車の届け出がない場合は、登録されたままとなり課税されることになります。

日

INFORMATION

令和7年度 たら文化伝道師検定

「たら文化」の歴史、文化の魅力や価値を学ぶことで、文化に対する愛着や誇り（シビックプライド）を醸成することを目的として、「たら文化伝道師」を認定する検定試験を実施します。昨年度以前、初級に合格された方は、上級試験にもチャレンジできます。

とき 3月1日(日)

受付時間 10:00~10:30

試験時間 10:40~11:40

ところ 三刀屋文化体育館アスパル 娯楽音楽室

受験料 2,000円（初級、上級）

内容

公式テキスト「雲南のたら文化」などから問題を出題し、合格者には認定証を交付します。

申し込み

申し込み方法など詳細は右記二次元コードを読み取っていただくか、検定ホームページ（<https://sites.google.com/tataramax.com/tatarakentei>）をご確認ください。



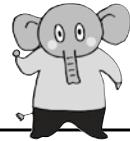
<検定特設サイト>

申込期限 2月20日(金)（必着）

【問】(公財)鉄の歴史村地域振興事業団

Tel 0854-74-0311

くらしの消費生活窓口



島根県消費者センター
マスコットキャラクター
だまされないゾウくん

雲南市消費生活センター！

－市民の皆さんからの相談の受け付け、出前講座を行っています－

●雲南市消費生活センターと消費生活相談員

雲南市は、市民の皆さんのが安全で安心して暮らせる地域社会づくりをめざして「雲南市消費生活センター」に消費生活相談員を配置しています。消費生活相談員は、消費者と事業者との間に生じた商品やサービスに関する苦情などについて公正な立場で“聴き取り”、“助言（対処方法のアドバイスや専門機関などの紹介）”と必要に応じて救済を図るために“あっせん（事業者側と交渉をする）”を行い解決や被害防止に努めています。「おかしいな」と思ったら悩まずに「早めに」、「お金を払う前に」気軽にご相談ください。

●雲南市出前講座「ふるさとづくり講座」

被害が多い架空請求などの悪質商法のトラブルの事例を交えて分かりやすく説明するとともに、市民の皆さんからの消費者問題の苦情をお聞きし、消費者被害の未然防止を図るために出前講座を行っています。ぜひ、お申し込みください。



出前講座の様子

○少しでも疑問や不安を感じた場合やトラブルがあった場合は、一人で悩まずに、すぐに雲南市消費生活センターなど（消費者ホットラインは局番なしの188）に相談しましょう。

【相談・問・出前講座依頼先】雲南市消費生活センター Tel 0854-40-1123 Fax 0854-40-1039

●市報うんなん No.255 2026年2月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 広報広聴課
〒699-1392 雲南市木次町里方521-1
TEL 0854-40-1015 FAX 0854-40-1029
E-mail unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口… 33,803人 (-68人)

男 性… 16,406人 (-30人)

女 性… 17,397人 (-38人)

世帯数… 13,571世帯 (-8世帯)

令和8年1月1日現在 (先月比)



この印刷物は環境に配慮し、大豆油にかわり米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。